

劇でつたえる 保育シリーズ 年少 4月

はじめてのおかたづけ

第一話 だれのカバン？

第二話 くつ、どうする？

(上演時間 約15分)

作・清田明世

● 登場人物

まさる (年少) ちよつと引つ込み思案な男の子。
ゆうき (年少) まつすぐな性格の男の子。
げんたろう (年少) 面白くことが好きな男の子。何でもリズムや歌にする。
ちほ (年少) ちよつとおませな、先進的女の子。
さとみ (年少) 後ずさり気味だが、優しい女の子。
ナレーター 先生役。

● 今月のテーマについて

いよいよ幼稚園での生活が始まりました。子どもたちは、初めて家族から離れた場所でお家の中で過ごしていた時と異なる、集団の基礎を学んでいきます。自分と他人の区別が未熟な子どもたちは、さっそく混同します。本シリーズの初回に取り上げたテーマは、「持ち物の混同」です。

「あれ、だれの？」

とは、年少の教室で飛び交うトップフレーズではないでしょうか。この作品では、このフレーズへの意識づけをはかります。子どもたちの耳に残るように、耳に残ったものが記憶となり、学習につながるように、楽しく観てもらえる作品になればいいな、と思います。

● 本シリーズの演じ方

本シリーズは、先生役であるナレーターが舞台袖に立ち、舞台上の演者(パネルシアターの場合はパネルの絵)に向かってコメントや指導をしていく演出になっています。観客である園児の反応を巻き込みながら、園児が共感をもって演者を見ることがポイントです。

身近なテーマを取り上げますので、実演形式で行う場合は、各園のルールに沿った内容のアドリブなどをきかせながら、普段の子どもたちの様子と重なるように気軽に演じていただけたらと思います。パネルシアター形式で行う場合は、事前に各園のルールに沿ったパネルの準備が必要となります。

ナレーター

みなさん、こんにちは。
私は、〇〇先生です。

みんなは、幼稚園って、どんなところか知ってるかな？

今日の朝、お母さんと離れるのが淋しくなっちゃった子もたくさんいるよね。

これから、先生たちが、劇をします。
みんなと同じ、初めて幼稚園に通う、3才の子どもたちのお話です。

幼稚園って、どんなところかな。

どんな子どもたちが出てきて、

どんなことが起こるのかな。

最後まで、見ていてくださいね。

*

第一話 だれのカバン？

○教室

ナレーター

ここは、年少さんの教室のようですね。朝、子どもたちが幼稚園にやってくる時間です。

まさる、教室のドアの前で、モジモジしている。

ナレーター

おや？お部屋のドアの前で、なんだかモジモジしている子がいるね。まさるくんです。

まさる、チャツと教室の中をのぞいたりするが、なかなか中に入れない。

げんたろうの声

タツタツタツタツター。

げんたろう

げんたマン！ とう、じょう！

ナレーター

おっと。人一倍元気な男の子が一番のりでやってきました。げんたろうくんです。

※本シリーズは、初めて集団生活に飛び込む3才児を念頭に制作しています。文中では「幼稚園」と統一していますが、保育園やその他施設で用される場合は、施設名を「変更ください」。

観客に向かって言う

観客に向かって言う

勢い良い声がきこえてくる

教室に飛び込んできて、

大の字ポーズ。

観客に向かって言う